

V 人権教育の評価

人権教育を一層充実させるためには、各学校（園）が人権教育の推進体制や指導内容、教職員自身の言動等について適切に評価を行い、その在り方を見直していく必要があります。前年度の取組をそのまま繰り返すことなく、取組の必要性や有効性等を客観的に評価し、今後の取組に反映できるよう、工夫改善していくことが求められます。

そのため、校長（園長）のリーダーシップの下、教職員が一体となって人権教育に取り組む体制を整え、目標の設定、指導計画の作成や教材の選定・開発などの取組を組織的・継続的に行う必要があります。

各学校（園）においては、こうした人権教育の取組について、点検・評価を行い、その結果を基に見直し、保護者や地域の人々に積極的に情報提供するよう努めなければなりません。その際、学校評議員制度を活用したり、保護者や地域の人々の意見を聞く機会を設けたりするなどの工夫も考えられます。

評価の観点としては、次のようなものが考えられます。

I 推進体制の評価

	評 価 の 観 点	評 価
実 態 の 把 握	人権に関する幼児児童生徒の意識や行動について把握している。	
	幼児児童生徒の学力や進路希望について把握している。	
	幼児児童生徒の学校（園）・家庭での様子について把握している。	
	人権に関する保護者の意識や行動、思いや願いについて把握している。	
	地域の人々の人権に関する意識や取組の実態について把握している。	
目 標 ・ 方 針	学校（園）の教育目標や方針の中で、幼児児童生徒や家庭・地域社会の実態に応じた人権教育の目標や努力事項などが明示されている。	
	各教科・領域等における教育活動と人権教育との関連が、年間指導計画の中に位置付けている。	
	人権教育の目標や指導の重点が、全ての教職員に理解され、実践に結び付いている。	

	評 価 の 観 点	評 価
組 織 ・ 推 進 計 画	校内人権教育推進委員会などの組織が整備され、機能している。	
	人権教育を推進するための全体構想を作成している。	
	人権教育の取組について、常に点検・評価をし、それに基づく工夫・改善をしている。	
	幼児児童生徒の発達段階や実態に基づいた人権教育に関する適切な資料を計画的に収集し、整備している。	
	校種間の交流や連携による人権教育の取組が進められている。	
	家庭・地域社会や行政、NPO法人等との連携による人権教育の取組が進められている。	
教 職 員 研 修	研修内容が学校（園）の課題に沿ったものになっている。	
	研修内容や方法を工夫改善している。	
	研修内容を深めることができるような資料や教材の準備をしている。	
保 護 者 ・ 地 域 啓 発	P T A活動の計画の中に、人権教育に関する内容が位置付けている。	
	学校（園）・学級だよりやP T A新聞の発行などを通して、地域・地域社会に人権教育についての理解・啓発を図っている。	
	校外の研修会や家庭教育学級、学級懇談会などの機会を捉えて、人権教育についての理解・啓発を図っている。	

2 指導内容の評価

(例) 小学校高学年

	評価の観点		評価
人権尊重に関する正しい知識	① 人権に関わる概念	全ての人が幸せに生き、人として大切になれなければならないことを理解している。	
		全ての人が生まれながらにもっている基本的人権について理解している。	
	② 生命尊重	自他の生命は、かけがえのないものであることを理解している。	
	③ 自己理解・自尊感情	自分の可能性や能力・適性に気付いている。	
		家族や身近な人々から大切にされている自分に気付いている。	
	④ 他者理解	友達や身近な人の良さに気付き、協力し助け合うことの大切さを知っている。	
		様々な人々がいて、それぞれの思いや考え方が違うことに気付いている。	
	⑤ 人間関係の在り方	自分の思いや考えを、相手を尊重して伝えることの大切さについて理解している。	
		社会生活上のきまりやマナーを守ることの大切さを理解している。	
	⑥ 社会参加	集団の一員としての自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことの大切さを知っている。	
	⑦ 様々な人権課題	いじめや仲間はずしは、解決しなければならない重大な人権問題であることの大切さを知っている。	
		身近な生活の中の偏見や差別の不合理性を知り、一人一人が尊重される社会の実現を目指すことの大切さを知っている。	
		同和問題をはじめとする様々な人権課題があることを知っている。	
	⑧ 人権に関する歴史や条約、法令等	人権に関するきまりについて知っている。	

	評 価 の 観 点		評 価
人権尊重に関する望ましい価値観	① 生命あるもの全てが、かけがえのないものであることを認識し、生命を尊ぶ心をもとうとする。	生命の尊さを感じ取り、自他の生命を尊重している。	
	② あらゆる偏見や差別を許さずなくしていこうとする。	誰に対しても偏見をもったり、差別をしたりすることなく、公正、公平に接し、正義の実現に努めている。	
	③ 自他の違いを認め、尊重し、共に生きていく社会の実現を目指そうとする。	違いを認め、個性を尊重し、互いに協力し合って、差別のない共に生きる社会をつくっていこうとする。	
		我が国の文化や伝統に誇りをもち、全ての人々と共に生きていこうとする。	

	評 価 の 観 点		評 価
よりよい人間関係をつくるための技能	① 伝え合い分かり合うためのコミュニケーション能力	相手の立場になって話を聞くことができる。	
		自分も相手も大切にしたい自己表現ができる。	
	② 自他の要求を共に満たせる解決方法を見出し、それを実現させる能力	自分の言動を振り返ることができる。	
		相手の良さがわかるとともに、その人の立場に立って考えることができる。	
		それぞれの考えの違いを建設的に調整することができる。	
		いじめや差別をなくしていくことができる。	

3 配慮事項の評価

(例) 幼稚園・保育所・認定こども園等

	評価の観点	評価
基礎的事項	基本的な生活習慣の形成を図るとともに、子どもの気持ちを温かく受容し、個人差を考慮して、子どもが安定して行動できるようにしている。	
	子どもを取り巻く環境に十分留意し、快適に生活できるようにしている。	
健康	一人一人の子どもと教職員との温かい触れ合いの中で、日常生活の直接的な体験を通して、健康で安全な生活を送ることができるよう、基本的な生活習慣を身に付けるようにしている。	
人間関係	集団の中で、人と関わる力を育てることができるようになっている。	
	友達との関わりの中で、他の人の存在に気付き、相手を尊重する気持ちをもって行動できるようにし、豊かな心情が育つようにしている。	
環境	身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりできるようにしている。	
	身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりして、社会や自然の事象に関心をもつことができるようにしている。	
言葉	日常会話や絵本・童話などを通して、様々な言葉のきまりや面白さなどに気付き、言葉の感覚が豊かになるようにしている。	
	相手が嫌な気持ちになる言葉があることに気付くことができるようにしている。	
	教職員や友達と関わることを通して、言葉を交わす喜びを味わえるようにしている。	
表現	生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにし、様々な表現を楽しむことができるようにしている。	
	様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わうことができるようにしている。	

(例) 中学校

	評 価 の 観 点	評 価
学 習 指 導	一人一人の生徒の実態に配慮した「分かる授業」を行い、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、学力の向上が図られるようにしている。	
	個人の尊厳を重んじるとともに、科学的・合理的なものの見方、考え方を育てるようにしている。	
	生徒の主体的な学習を通して、認め合い、共に高め合うことができるようにしている。	
	学習の評価を指導に生かし、一人一人の学習意欲を高めるようにしている。	
	道徳科においては、人権教育と関連付けて指導が展開されるようにしている。	
	特別活動においては、生徒相互が協力し合い、諸問題への対応や解決の仕方を学ぶなど、具体的な活動を通して学ぶようにしている。	
	総合的な学習の時間等においては、社会体験や自然体験など、多様な体験活動を通して、生命を尊重し、共に生きようとする態度や行動につながる力を育成するようにしている。	
生 徒 指 導	心が触れ合う機会や場を設け、教職員と生徒及び生徒相互の人間関係が深まるようにしている。	
	家庭との連携を図りながら、基本的な生活習慣や生活上のルールやマナーなどの社会規範を身に付けさせるために、全職員が一貫性をもって継続的に指導に取り組むようにしている。	
	偏見や差別の不合理性を理解させ、いじめ等の人権に関する問題の解決を図るようにしている。	
	配慮が必要な生徒について、全職員の共通理解の下、支援を行うようにしている。	
	生徒の言動の背景にある生活の実態を正しく把握するとともに、保護者の思いや願いを十分に受け止め、助言や指導を行うようにする。	

	評 価 の 観 点	評 価
進 路 指 導	人間としての望ましい生き方を考えさせるようにしている。	
	生徒自身が自分の可能性や能力・適性に気付くように、自己理解を深めさせるようにしている。	
	望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育を充実し、働くことの意義や職業についての理解を深めさせ、自らの進路を主体的に選択できるようにしている。	
	収集した情報を活用して、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲が高められるようにしている。	
	集団の中で適応する力を育むために、家庭や地域社会等との連携を推進し、様々な人々との人間関係の構築が図られるようにしている。	
	進路決定については、生徒の希望や保護者の意見を尊重し、生徒の能力・適性、興味・関心等を把握した上で、適切な支援を行うようにしている。	
	進路に関する調査等の個人情報については、慎重に取り扱うようにしている。	
	入学者選抜（選考）試験等終了後、公平・公平な面接が行われたかどうかを生徒に確認し、違反質問と思われる事業があった場合には、迅速かつ的確に対応している。	
学 級 経 営	学校の教育目標や学年の指導方針等を踏まえ、生徒の発達段階や学級の実態に即して、人権教育に関わる学級経営の目標を設定し、具体化を図るようにしている。	
	一人一人の生徒の個性や能力を発揮できる場を設定し、学級の一員としての存在感をもつことができるようにしている。	
	生徒が相互に人権を尊重し合い、認め合うことができるように言葉遣いや掲示物などの教育環境を整えるようにしている。	

4 望ましい人間関係を育むための評価

(1) 幼児児童生徒の自己評価 (例)

幼稚園・保育所・認定こども園等

できたら、○をつけましょう↓

あさのかい かえりのかい	ともだちや せんせいに あいさつが できましたか。	
	せんせいの はなしを さいごまで きけましたか。	
いちにちの せいかつ を とおして	ともだちと なかよく あそべましたか。	
	きまりや やくそくを まもれましたか。	
	「ありがとう」や「ごめんなさい」が いえましたか。	
きゅう しょく ・ おやつ	「いただきます」や「ごちそうさまでした」が いえましたか。	
	みんなと なかよく たべることが できましたか。	
	みんなと いっしょに じゅんびや かたづけが できましたか。	

小学校下学年

できたら、○をつけましょう↓

あさ てあ 朝の出会い	とも せんせい あか げんき 友だちや先生に明るく元気なあいさつができましたか。	
あさ かい 朝の会	せんせい とも はなし き 先生や友だちの話 をさいごまで聞くことができましたか。	
じゅぎょうちゅう 授業中	せんせい とも はっぴょう き 先生や友だちの発表 をさいごまで聞くことができましたか。	
	とも 友だちのまちがいやしっぱいをわらったり、せめたりしませんでしたか。	
	じぶん かんが おも い 自分で考えたことや思ったことをはっきりと言うことができましたか。	
きゅうしょく 給食	しょくじ まも たの た 食事のマナーを守って、楽しく食べることができましたか。	
	た かんしゃして食べることができましたか。	
ひるやす 昼休み	とも たの 友だちとなかよく楽しくすごすことができましたか。	
	ひとり とも こえ 一人でいる友だちがいたら、声をかけることができましたか。	
そうじ	みんなときょうりよくして、そうじをすることができましたか。	
かえ かい 帰りの会	せんせい とも はなし き 先生や友だちの話 をさいごまで聞くことができましたか。	
	いちにち じぶん とも 一日をふりかえり、自分や友だちのよさをみとめることができましたか。	
いちにち 一日の せいかつ 生活を ふりか えって	やす とも からだ ちょうし とも 休んだ友だちや体の調子がよくない友だちのことをしんぱいして、 やさしくすることができましたか。	
	とも い 友だちにいやなことを言ったり、したりしませんでしたか。	
	がっこう がっきゅう 学校や学級のきまりを守ることができましたか。	
	とも たす あ かかり どうばん かつどう 友だちと助け合って、係や当番の活動をするすることができましたか。	
	か 家ぞくやちいきのかたがたに、すすんであいさつができましたか。	

小学校上学年

できたら、【評価】の欄に○をつけましょう。

ひょうか
評価

	できたら、【評価】の欄に○をつけましょう。	ひょうか 評価
朝の出会い	友達や先生に明るく元気なあいさつができましたか。	
朝の会	先生や友達の話 ^{さいご} を最後まで聞くことができましたか。	
授業中	先生や友達 ^{さいご} の発表を最後まで聞くことができましたか。	
	友達のまちがいや失敗を笑ったり、責めたりしませんでしたか。	
	自分で考えたことや思ったことをはっきりと伝えることができましたか。	
給食	食事のマナーを守って、楽しく食べることができましたか。	
	^{かんじや} 感謝して食べることができましたか。	
昼休み	友達と仲良く楽しく ^す 過ごすことができましたか。	
	一人でいる友達がいたら、声をかけることができましたか。	
そうじ	みんなと協力して、そうじをすることができましたか。	
帰りの会	先生や友達の話 ^{さいご} を最後まで聞くことができましたか。	
	一日をふりかえり、自分や友達 ^{みと} のよさを認めることができましたか。	
一日の生活をふりかえって	欠席した友だちや体の調子がよくない友だちのことを ^{しんぱい} 心配して、やさしくすることができましたか。	
	友達が傷つく言葉を使ったり、友達がいやがったりすることをしませんでしたか。	
	学校や学級のきまりを守ることができましたか。	
	友達と助け合って、係や当番の活動をすることができましたか。	
	家族や ^{いき} 地域の方々に、進んであいさつができましたか。	

中学校

できたら、【評価】の欄に○をつけましょう。

		評価
朝の出会い	友達や先生に、自分から進んであいさつができましたか。	
朝の会	先生や友達の話最後まで聞くことができましたか。	
授業中	先生や友達の発表を最後まで聞くことができましたか。	
	友達と協力し、助け合いながら学習を進めることができましたか。	
	友達の思いや考えを尊重することはできましたか。	
	自分の思いや考えを分かりやすく発表することができましたか。	
給食	食事のマナーを守って、楽しく食べることができましたか。	
	感謝の気持ちをもって食べることができましたか。	
	準備や後片付けを協力して行うことができましたか。	
昼休み	友達と仲良く楽しく過ごすことができましたか。	
	一人である友達がいたら、声をかけることができましたか。	
清掃	友達と協力して清掃に取り組むことができましたか。	
帰りの会	先生や友達の話最後まで聞くことができましたか。	
	一日を振り返り、自分や友達のよさを認めることができましたか。	
一日の生活を通して	欠席した友だちや体調がよくない友達などを気づかい、思いやることができましたか。	
	係活動や当番活動の責任を果たすことができましたか。	
	時と場に応じて、自分の相手も大切に自己表現をすることができましたか。	
	家族や地域の方々に、進んであいさつができましたか。	

高等学校

できたら、【評価】の欄に○をつけましょう。

	評 価 の 観 点	評価
朝の出会い	友達や先生に、自分から進んで挨拶ができましたか。	
朝の会 (SHR)	落ち着きのある学級の雰囲気づくりに努めることができましたか。	
	相手の立場や考えを尊重しながら話をしたり、聞いたりすることができましたか。	
授業中	時間を守り、私語を止めるなど授業を受ける準備ができましたか。	
	先生や友達の話真剣に聞くことができましたか。	
	友達と協力し、互いの意見を交換し合ったり、助け合ったりしながら、学習を進めることができましたか。	
	自分の思いや考えを分かりやすく発表することができましたか。	
清 掃	友達と協力して清掃に取り組むことができましたか。	
帰りの会 (SHR)	相手の立場や考えを尊重しながら話をしたり、聞いたりすることができましたか。	
	一日を振り返り、自分や友達のよさを認めることができましたか。	
一日の 生活を 通して	欠席した友だちや体調がよくない友達などを気づかい、思いやることができましたか。	
	係活動や当番活動の責任を果たすことができましたか。	
	時と場に応じて、自分の相手も大切にしたい自己表現をすることができましたか。	
	家族や地域の方々に、進んであいさつができましたか。	

(2) 教職員の自己評価 (例)

できたら、【評価】の欄に○をつけましょう。

	評 価 の 観 点	評 価
朝の出会い	児童生徒に自ら明るい挨拶をしたり、温かい言葉を掛けたりしている。	
朝の会 (SHR)	児童生徒の表情や健康状態を把握しながら、一人一人の氏名を点呼している。	
	前日に欠席した児童生徒に対して、温かく声を掛けている。	
授業中	指名するときは、必ず「さん」などを付けて呼んでいる。	
	教師や友達の話最後までしっかりと聞くようにさせている。	
	児童生徒一人一人にとって、分かる、できる授業を心がけている。	
	児童生徒が互いを認め合い、助け合いながら進める授業を心がけている。	
給食	食事のマナーを守らせるようにしている。	
	児童生徒とともに食事をし、温かい人間関係づくりに積極的に取り組んでいる。	
昼休み	孤立している児童生徒がいなくどうか配慮している。	
	児童生徒の相談に乗ったり、進んで声を掛けたりしている。	
清掃	児童生徒と共に清掃に取り組んでいる。	
	清掃することの喜びを味わわせるような手立てや清掃分担に十分配慮している。	
帰りの会 (SHR)	思いやりのある行動を紹介し、称賛している。	
	互いの良さを認め合う場を設定している。	
	今日一日の自分を振り返らせ、自分の在り方を考えさせている。	
一日の 生活を 通して	児童生徒の会話や行動の中に、気になる発言・言葉遣いや態度が見られなくどうか把握している。	
	日記や生活の記録などを活用し、児童生徒の悩みや人間関係を把握している。	
	机やノート等に落書きがないか気に掛けている。	
	様子が気になる児童生徒に対して、声を掛けるなどの配慮をしている。	

(3) 保護者の自己評価 (例)

できたら、【評価】の欄に○をつけましょう。

	振 り 返 り 項 目	評 価
1	家族に進んで挨拶をするとともに、子どもにも心掛けさせている。	
2	子どもの表情や健康状態を把握するように努めている。	
3	子どもの話を最後まで聞くようにしている。	
4	子どもに人の話を最後まで聞くように指導している。	
5	家族で会話をしながら食事をしている。	
6	子どもが地域の子どもたちと遊ぶように働きかけている。	
7	子どもに家事を分担させている。	
8	地域での清掃作業等の取組に家族で参加している。	
9	子どものテレビ・ゲーム・パソコン・携帯電話・スマートフォン等の利用状況について把握している。	
10	子どもの友人関係を把握している。	
11	家庭学習の習慣を身に付けさせている。	

(4) 人権を尊重する地域づくりのための評価 (例)

できたら、【評価】の欄に○をつけましょう。

	振 り 返 り 項 目	評 価
1	人権教育推進委員会のような学校（園）と地域をつなぐ組織が結成されている。	
2	地域の活動を知らせる広報誌などが発行されている。	
3	子どもや教育の問題について、学校（園）と地域が共に話し合う場がある。	
4	地域の人たちが交流できる様々な行事や催し等が行われている。	
5	地域の人材やボランティア団体等が有効に活用されている。	
6	地域の自然や歴史、産業、文化財や施設について認識し、十分に生かすことができている。	
7	子どもたちの生命や安全を守るための取組が組織的である。	
8	子どもの自然体験活動、ボランティア活動、子ども会などの交流活動がさかんである。	
9	学校（園）が取り組んでいる活動を地域住民はよく知っている。	
10	学校（園）の様々な活動に地域住民が参加・協力している。	
11	地域の学校（園）相互の交流はさかんである。	
12	地域での様々な交流活動に教職員が積極的に参加している。	
13	P T A活動がさかんである。	
14	地域住民同士の強いつながりがある。	
15	大人も子どもも挨拶をよく交わしている。	
16	子ども同士で遊んでいる姿をよく見かける。	
17	子どもたちは社会生活上のルールやマナーを守っている。	
18	地域での清掃作業等に家族で参加する人が多い。	